

今年も、平和憲法を守る正念場の年

昨年暮れの秘密保護法案の国会審議で、安倍内閣が再び日本を「戦争する国」にしようとしていることが明らかになりました。7割以上の国民はこの法案に反対し、世論調査でも安倍内閣の不支持率は50%を超えています。

4月から消費税の8%への引き上げ、70歳～75歳の医療費の自己負担の1割から2割へ引き上げ、社会保障の切り捨てをすすめる一方、大企業の税金は引き下げるという逆立ち政治がまかりとおっています。沖縄県民や多くの国民が反対しているにもかかわらず、米軍普天間基地を名護市辺野古に移設し、沖縄県民の負担軽減どころか米軍基地の強化を強引に自公政権はすすめています。

平診9条の会は、「戦争する国」への歯止めになっている憲法9条を守り、国民の生きる権利を保障する25条を活かす取り組みを、今年も旺盛に展開していく決意です。皆様のご協力、御支援をよろしくお願い致します。



アサガオの押し花です。ステキですね！



看護師の箕浦ひかりさんと入院患者さんと作りました。今年もアサガオでステキなアート作品を作ってみましょう！



許せない！ 韓国軍に銃弾提供

12月23日、南スーダンに派兵している韓国軍に、小銃弾1万発を提供することを決めました。武器輸出3原則をなし崩しするものです。政府がこれまでできなかったことを勝手にするのは許されません。憲法9条と相いれないものです。

12/26安倍首相が靖国神社参拝

「二度と再び戦争の惨禍によって人びとの苦しむことのない時代をつくる」との決意を込めて「不戦の誓い」をいたしました」と安倍首相は参拝の理由を述べましたが、靖国神社は「不戦の誓い」にもっともふさわしくない場所であることは明らかです。安倍首相は、侵略戦争を肯定・美化する立場に身を置き、「戦争する国」づくりに奔走していることは、誰もが危惧しているのではないのでしょうか。

また、安倍首相は「中国や韓国の人びとの気持ちを傷つける考えは毛頭ございません」と語りましたが、中国と韓国から厳しい批判がでているのは当然なことで、中・韓との首脳会談も当面不可能になりました。アメリカ政府が直ちに「失望」の声明が発表され、ヨーロッパ連合（EU）からも非難があがり、国連の事務総長も「極めて遺憾だ」とし、「日・中・韓が共有する歴史について共通の認識を」と主張しています。

靖国神社 太平洋戦争などで戦死した日本人の軍人や軍族ら250万人を祭る神社。戊辰（ぼしん）戦争で死亡した官軍兵士の慰霊のため明治維新後の1869年に建てられた東京招魂社が前身で、1879年に現在の名称となった。戦前は国家神道の精神的支柱で、戦後に政教分離で宗教法人化された。過去の日本軍国主義による侵略戦争を『自存自衛の正義のたかい』『アジア解放の戦争』と美化し、宣伝することを存在意義とする特殊な施設。中国や韓国は首相、閣僚の参拝に反発している。

「米国と共に戦争する国づくり」は許しません！

12月27日、沖縄の仲井真知事は、名護市辺野古の埋め立て申請を承認しました。

仲井真知事も沖縄選出の自民党国会議員も「県外移設」を公約として当選しています。安倍政権と自民党本部は、強圧をもって沖縄県選出の国会議員と自民党沖縄県連に「県外移設」の公約を撤回させ、新基地建設容認に転じさせました。民主主義国にあるまじき理不尽な暴政といえます。

全国のわずか0.6%の面積しかない沖縄に、米軍専用基地の74%が集中し、事故や騒音などの基地被害に沖縄県民は苦しめられてきました。辺野古に建設する新基地には米海兵隊の新型輸送機オスプレイが配置され、強襲揚陸艦までが接岸できるようになれば、市民と命と暮らしがさらに脅かされ、自然環境が破壊されることは明らかです。

そもそも普天間基地も新基地も本当に必要なのでしょうか。安倍政権は、憲法9条を改正してでも、それが無理なら憲法解釈を変更してでも「集団的自衛権」を確立し、アメリカと共に戦争する国に変えていくことに執念を燃やしています。

1月には、沖縄名護市市長選挙、2月には東京都知事選挙があります。安倍政権の暴走をストップさせる重要な機会です。

年末は、いろいろなことがありすぎました。今年もよろしくお願いたします。

